

団体の資金調達 募集中!

「市民活動のススメ講座」は、市民活動団体が抱える問題点や悩みを解決するための知識等を伝達し、それぞれの活動をより活性化させるためのものです。

今回の研修講座は、多くの市民活動団体・NPOの皆様にとって共通の悩みである「資金調達」について、次の講義、ワーク等を通して学びます!

○講義「ファンドレイズ(資金調達)を始める前に」

- ①成果を生む準備②品質を高めながら続ける準備③信頼される準備

○個人ワーク「自主財源率を高めるために」

自分の団体で一番優先度の高い財源調達手段(会費、寄付、事業収益)について改善策を書き出す。

日時:12月4日(土) 14:00~16:30

場所:市民交流センター2階会議室

講師:川北 秀人 氏

IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表

講師の川北氏は、次のように述べています。
『「自分たちの活動や団体に資金が足りない」と訴えるのではなく、「何を実現するために、いくら、どう使う必要があるのか」が重要である!』と。

講座報告!

「気軽にできる!助成金申請」 大好評でした!

9月4日、日本財団の荻上健太郎さんを講師に迎え、「気軽にできる!助成金申請」講座を開催しました。参加者から大変好評だったこの講座の内容を少~しだけ、ワンポイントでご紹介します。

“助成金獲得&活用のための7つのコツ”

- 1 本当に助成金が必要なのか?を確認しよう
- 2 助成金の仕組みと相手のことをよく知ろう
 - 助成財団(助成する側)にとっては、実はNPOは自分たちに持っていない手段(ノウハウ、現場...)を持つ『パートナー』として目的を達成したいと考えている。つまり、助成財団自身も『成果と進化』を求められている。助成金だけではない『Win-Win』な関係を築こう!
- 3 情報収集には支援センターを活用しよう
- 4 事前相談を積極的に活用しよう
 - 『必須のプロセス』と言っていいほど重要!
- 5 相手が知りたいことに答えるという姿勢で申請書は作成しよう
 - 『箇条書き』で簡潔に! 文字数制限は厳守!
- 6 助成金をもらってからが腕の見せ所と心得よう
- 7 日頃から情報発信に積極的に取り組もう

※詳しい資料は交流センターでコピーまたはHPで

<https://canpan.info/>

検索

10月 フールセンター カレンダー

		プール専用使用コース数		交流センター
日	曜日	10~12時	13~15時	会議室関連
1	金			11月分予約抽選申込
2	土	9時~15時	避難所訓練のため入場不可	
3	日			11月分先着順申込
4	月		※2コース	
5	火	休館日		
6	水	▲2コース	◎2コース	
7	木		※2コース	
8	金		☆2コース 14:50~15:50	
9	土		※2コース	
10	日			
11	月		※2コース	
12	火			
13	水	▲2コース	◎2コース	
14	木		※2コース	
15	金			
16	土		※2コース	
17	日			
18	月		※2コース	
19	火	休館日		
20	水	▲2コース	◎2コース	
21	木		※2コース	
22	金			
23	土		※2コース	
24	日			
25	月		※2コース	
26	火		☆2コース 14:30~15:30	
27	水	▲2コース	◎2コース	
28	木		※2コース	
29	金			
30	土		※2コース	
31	日			
11/1	月			12月分予約抽選申込
2	火	休館日		
3	水			12月分先着順申込
4	木		※2コース	

- ・10月2日(土) 9時~15時は避難所訓練のため入場できません。15時以降は開館いたします。
- ・専用使用以外の3コースが使用できます。
- ・空欄、及び9時~10時、12時~13時、15時以降は基本的に全コースご利用いただけます。



歴史をつくるお手伝い



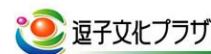
先日、北欧に行ってきました。街には、近代的なビルが林立。そこに「古いものこそ価値がある!」と言わんばかりに並び立つ古い建物。すごいインパクトでした。

古い建物を大切に、壊れれば修繕する、また時代の変化に対応して部分的に近代的な技術を取り入れ、古くなくても積極的にその姿を残していく努力。ただそこにあったように見えるけど、歴史を作るのは大変ですね。そんな景色を見ていたら、ふと、先日、センターで開催した市民活動情報交換会で、ある方がおっしゃったことを思い出しました。それは「団体の活動を存続させていくには、時代の流れに対応して活動の内容を少しずつ変えていく必要がある」という発言。そうか、活動を存続させるためには、時代を読む力が必要で、看板は変えずとも少しずつ変化・成長していくことが求められるということなのでしょう。市民団体も絶え間ない努力によって歴史を作っていくのです。しかも、その舞台は市民交流センターなんだ。そう考えた時、市民交流センターの一つの大きな役割が見えた気がしました。

それは、きっと歴史を作るお手伝い。一つ一つの団体の歴史が、まだ新しいこの市民交流センターの歴史となって、いつか世界に自慢できるくらいの歴史をもった「古い」市民交流センターになる姿を見てみたいと思いました。



市民協働課 今井敏之助



市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL 046-872-3001

FAX 046-872-3003



「理科ハウス」に行ってきました

池子十字路の角にある「理科ハウス」という、とても小さな科学館をご存知ですか?

逗子で仕事をするようになってから、まちを歩いて、気持ちのいい場所や素敵なお店を見つけるのが私の楽しみになっているのですが、その場所のひとつが、「理科ハウス」です。

一見ふつうの民家のような建物の中には、科学の不思議を感じさせる展示やゲームがいっぱい。私が訪ねたときには、「あなだけ」という企画展をやっていました。コインの穴、調味料入れの穴、昆虫の巣穴、きつつきが掘った穴、靴下の穴…。どんな穴にもそれぞれ、位置や大きさ、向きに深〜い理由があります。展示を見て、その理由を自分で発見したときには、すごうれしくなります。

中学生の頃から、「理科」には苦手意識を持っていたのですが、この展示は素直に楽しむことができました。

テストのための勉強ではなく、興味のおもむくままに不思議を探求できる、こんな場所と機会がもっとたくさんあるといいなと思います。小さくても他に例のないユニークな活動は、そのうち、他の分野の活動と結びついて、とても素敵な「協働」が生まれそうな予感がします。



市民協働コーディネーター きのしたよしの 木下理仁

ボランティアセンターへ!

「はじめての一步」

ボランティアセンター主催の『傾聴ボランティア入門講座』が終了しました。“人の話を聴く、話し相手になる”ということについての講義、演習、市内福祉施設での実習を合わせて全5回の講座でした。

最終日は、実習を除くとたった4回しか顔をあわせていない受講生同士が、解散を惜しむように語り合ったり、連絡先を交換し合ったりしていました。2010年の夏と一緒に学んだ『仲間』として、心のつながりが生まれていたのです。

『逗子のボランティア』という仲間同士、活動の喜びを分かち合い、困難にぶつかったときには励ましあえる、そんなボランティアに育ってもらえたら嬉しいです。

ボランティアセンターでは、このようにボランティアの『はじめての一步』を踏み出すきっかけ作りとして『ボランティア入門講座』を毎年開催しています。一人では不安でも、仲間ができれば一緒に踏み出せます!ぜひ皆さんも参加してみてください。

開設日・時間:

月曜日~金曜日 9時~17時
(交流センター休館日・祝日は除く)

連絡先:

電話 046-873-8037

Eメール vc@zushi-shakyo.com



担当:小田嶋 漆垣

